

「武州大澤駅（現北越谷駅）」の 「屎尿槽」と「引き込み線」

秦野 秀明

はじめに

東武鉄道伊勢崎線での「屎尿輸送」に関する代表的な先行研究としては、

- ①高崎 力（二〇一〇）（1）
- ②サークルT J 1914 編（二〇二五）（2）がある。

①高崎 力（二〇一〇）（1）では、東武鉄道伊勢崎線での「屎尿輸送」が開始された「理由」を出典不記載の上で、「太平洋戦争が進むにつれ、ガソリンが不足するなど、トラック輸送が不可能になると、トラックに代わって鉄道輸送になった」と説明している。

②サークルT J 1914 編（二〇二五）（2）では、同「理由」を出典記載の上で、「戦争の影響により、既存の方法では処理しきれなくなった屎尿処理方法の一つ」と説明している。また、「屎尿輸送」の来歴の詳細を出典記載の上で、以下のよう

- ①昭和19年（一九四四）10月24日

出典③

「埼玉新聞」昭和19年（一九四四）10月24日

↓杉戸駅、武里駅の屎尿槽は工事中。
武里駅は21日地鎮祭をおこなう予定。

- ②同20年（一九四五）1月20日
出典⑥

「埼玉新聞」昭和20年（一九四五）2月12日
↓業平橋駅に建設予定の積込設備がまだ地鎮祭すらおこなっていないため、中千住駅の3両分のスペースしかない仮施設から大澤（北越谷）駅へ1月20日から1日貨車1両の屎尿輸送が開始され、2月には2両になった。

- ③同20年（一九四五）2月25日
出典⑤

「埼玉新聞」昭和20年（一九四五）2月25日
↓大澤（北越谷）駅や春日部方面に設置中の貯留槽は5月中には完成見込み。

- ④同20年（一九四五）10月1日〜同21年3月31日
出典④

昭和20年（一九四五）10月1日〜
同21年（一九四六）3月31日

「第二項 工事概況」『東武鉄道第97回営業報告』
↓大澤（北越谷）駅、武里駅、杉戸（東武動物公園）駅の屎尿積卸設備の設置工事完了。

- ⑤同21年（一九四六）3月4日

出典⑧

「埼玉新聞」昭和21年（一九四六）3月4日

出典⑨

「出典⑧」の拡大

↓伊勢崎線の中千住駅から大澤（北越谷）駅、武里駅、杉戸（東武動物公園）駅への屎尿輸送がおこなわれている。

以上、代表的な先行研究である

①高崎 力（二〇一〇）（１）

②サークルTJ1914編（二〇二五）（２）

の記載の一部を引用した。

今回、先行研究には記載があるが、詳細が「不明」であった東武鉄道伊勢崎線「武州大澤駅（現北越谷駅）」の「屎尿槽」の位置及び「引き込み線」の存在に関して、調査を行う。

一・昭和二十年代、三十年代撮影の「空中写真」

国土交通省「国土地理院」の「地図・空中写真閲覧サービス」（３）を使用し、該当地域を検索した結果として、以下の「９種類」の「空中写真」を抽出し、精査した。

①（USA-R393-129）画像不鮮明×

撮影年月日（昭和二十二年（一九四七）十月二十三日）
↓「屎尿槽」と「引き込み線ホーム」の確認が不可能

②（USA-R393-165）画像不鮮明×

撮影年月日（昭和二十二年（一九四七）十月二十三日）

↓「屎尿槽」と「引き込み線ホーム」の確認が不可能

③（USA R2808 12）画像鮮明

撮影年月日（昭和二十四年（一九四九）五月十日）
↓「引き込み線」に「貨車３両」を確認
↓「屎尿槽（推定）」と「引き込み線ホーム（同）」を確認

④（USA M68 43）画像不鮮明×

撮影年月日（昭和三十年（一九五五）一月二十一日）
↓「屎尿槽（推定）」を確認

⑤（USA M288 33）画像鮮明

撮影年月日（昭和三十一年（一九五六）三月六日）
↓「本線の待避線」に「貨車２両」を確認
↓「屎尿槽（推定）」と「引き込み線ホーム（同）」を確認

⑥（USA M331 107）画像不鮮明×

撮影年月日（昭和三十一年（一九五六）三月十三日）
↓「屎尿槽（推定）」を確認

⑦（MKT613-C14-29）画像鮮明

撮影年月日（昭和三十六年（一九六一）六月二日）
↓「屎尿槽（推定）」と「引き込み線ホーム（同）」を確認
↓「引き込み線ホーム（推定）」の末端に「建造物」

⑧（MKT613 C36 5）画像鮮明

撮影年月日（昭和三十六年（一九六一）六月十一日）
↓「屎尿槽（推定）」と「引き込み線ホーム（同）」を確認
↓「引き込み線ホーム（推定）」の末端に「建造物」

⑨（MKT645X C4 13）画像鮮明

撮影年月日（昭和三十九年（一九六四）五月十六日）

↓「北越谷地区」の「土地区画整理事業」が進行中

↓「屎尿槽（推定）」と「引き込み線ホーム（同）」の撤去

結びにかえて

「9種類」の「空中写真」を精査した結果、先行研究には記載があるが、詳細が「不明」であった東武鉄道伊勢崎線「武州大澤駅（現北越谷駅）」の「屎尿槽」の位置及び「引き込み線」・「引き込み線ホーム」の存在に関して、推定する事が可能となった。

また、東武鉄道伊勢崎線「武州大澤駅（現北越谷駅）」の東口の地区となる越谷市大沢三丁目に在住のS氏（令和7年（二〇二五）現在八十八歳）への「聞き取り調査」の結果として、「空中写真」で読み取った「屎尿槽」の位置に、間違いなく「屎尿槽」が存在した事実も確認出来た。

令和7年9月30日に、「越谷市／越谷市デジタルアーカイブ」において「公開」された「北越谷ケント原図」（5）を利用する事により、「武州大澤駅（現北越谷駅）」の正確な「線路配置」も確認可能となった。

以上の調査結果を基に、以下に「open-hinata」（4）、及び「北越谷ケント原図」（5）のデータを掲載する。

注

（1）高崎 力（二〇一〇）

「越谷・春日部周辺の農作物の屎尿の供給」
<https://koshigayahistory.org/71.pdf>

（2）サークル TJ1914 編（二〇二五）

『東上線における屎尿（下肥）輸送調査発表誌』
改訂式版 サークル TJ1914 pp.347-403

（3）国土交通省「国土地理院」

「地図・空中写真閲覧サービス」
<https://service.gsi.go.jp/map-photos/app/map?search=history>

（4）「Open-hinata」

<https://kenzkenz.xsrv.jp/open-hinata/>

（5）「越谷市／越谷市デジタルアーカイブ」

「北越谷ケント原図」

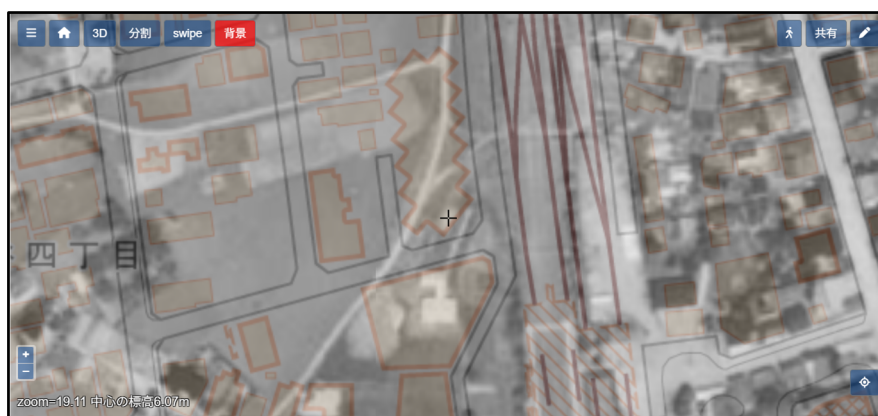
<https://adeac.jp/koshigaya-city-digital-archives/catalog/mp079130-100041>



出典：「Open-hinata」(注4)より加筆して引用

①上段：「1961～1964 空中写真 (zoom=19.11)」

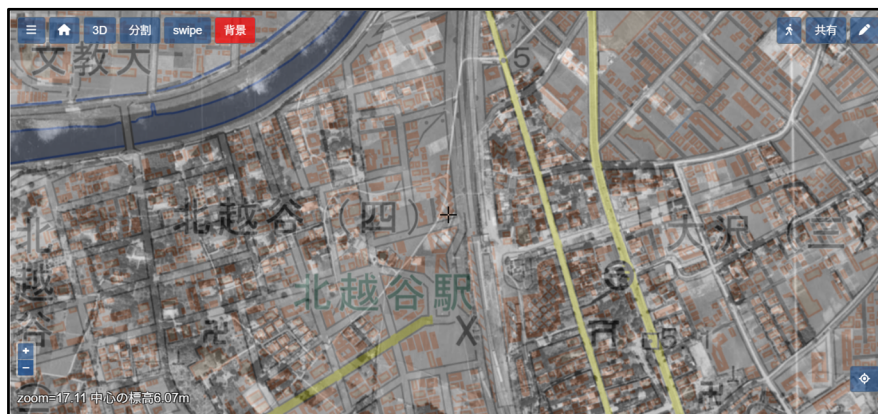
②下段：「1961～1964 空中写真」と「標準地図」を1枚に重ねて表示 (同)



出典：「Open-hinata」(注4)より加筆して引用

③上段：「1961～1964 空中写真 (zoom=17.11)」

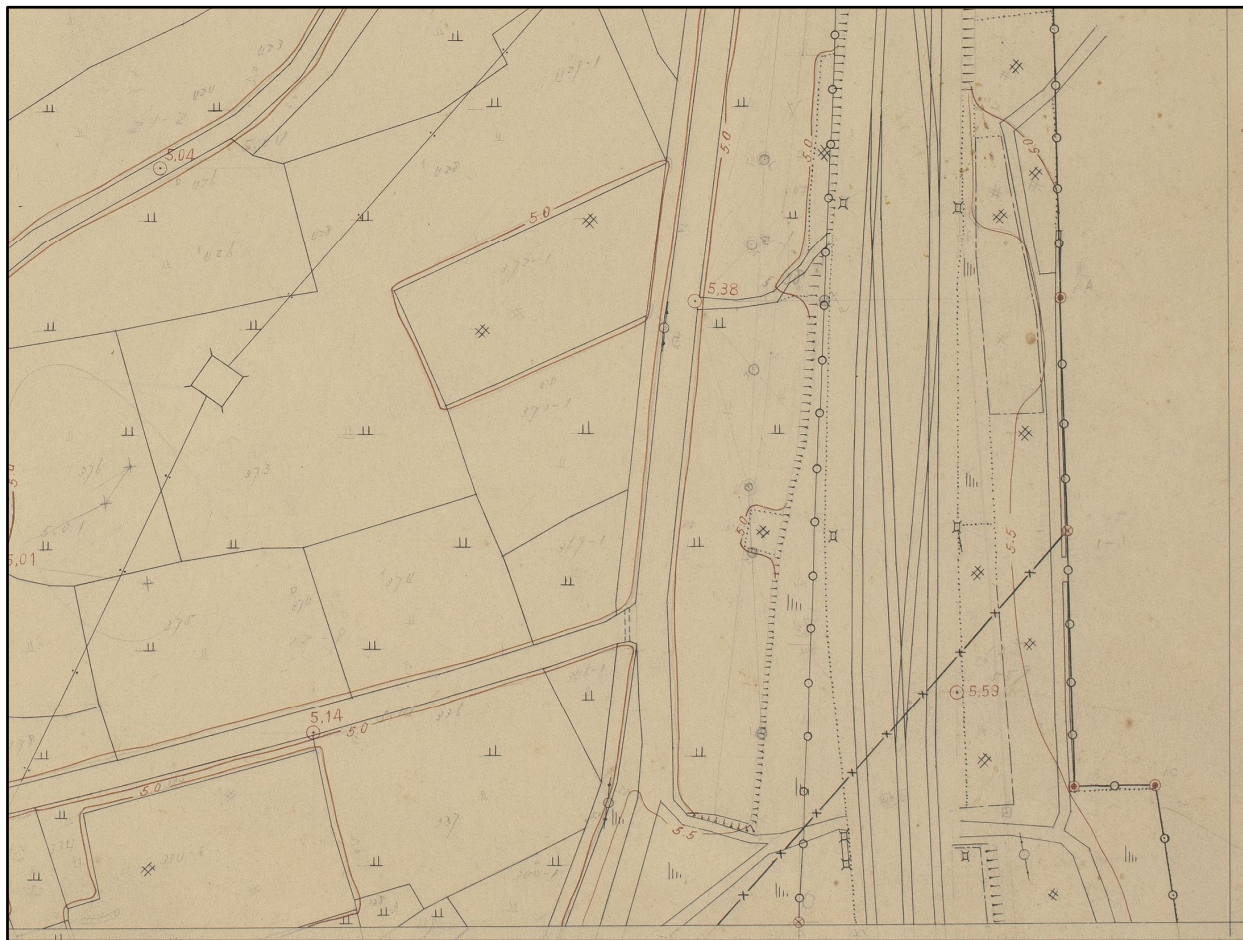
④下段：「1961～1964 空中写真」と「標準地図」を1枚に重ねて表示 (同)





出典：越谷市／越谷市デジタルアーカイブ
「北越谷ケント原図」（注5）より加筆して部分引用





出典：越谷市／越谷市デジタルアーカイブ
「北越谷ケント原図」（注5）より加筆して部分引用

